



# 芭蕉翁献詠俳句 特入選句などを 紹介します

毎年、俳聖松尾芭蕉の命日である10月12日に翁の偉業を称え遺徳を偲ぶ「芭蕉祭」を開催しています。今年台風19号のため中止となりましたが、本年度の各部門の特選・最優秀と、一般の部で入選した市内の皆さんの句を紹介します。

## 【応募数】

一般の部…8,312句

テーマの部…1,828句

児童・生徒の部…24,355句

英語俳句の部…28カ国から712句

連句の部…109巻

絵手紙…915枚 ポスター原画…598枚

## 【問い合わせ】

文化交流課 ☎22・9621 FAX22・9619

✉bunka@city.iga.lg.jp

（公財）芭蕉翁顕彰会 ☎21・4081 FAX51・6796

## 一般の部 特選

### ▼有馬朗人 選

歎異抄手擦れてゐしが儼びてゐず 豊中市 小畑 晴子  
能面を打ちたる人と春惜む 奈良県 濱坂みち子

### ▼稲畑汀子 選

玉虫を拾ひ糞虫庵に腰 大阪市 田島 もり  
蕉風を今に伝へて翁の忌 神戸市 池田雅かず

### ▼茨木和生 選

瓜坊の猪突猛進あなどれず 宝塚市 廣田 祝世  
花万朶夜は無人となる島の 北九州市 永田 英子

### ▼宇多喜代子 選

手話の指清流となり鮎となり 東海市 加藤 久子  
鐘一打千の屋根越え暮の秋 藤岡市 原 美知子

### ▼小澤實 選

鱧の皮たまり醤油の香ばしよ 品川区 蔵田かをり  
蠅虎妻遅き夜の敷布替へ 千葉市 左官屋宇兵衛

### ▼黒田杏子 選

けもの道四辻のあり滴れり 山梨県 朗善 千津  
大南風転任の地へわづかな荷 名古屋市 井上美保子

### ▼坂口緑志 選

あかばしの残る斎庭に茅の輪結ぶ 伊賀市 永井 みよ  
夕星や縁に忘れし水鉄砲 伊勢市 森下 充子

### ▼塩田藪柑子 選

山開き案内板の真新し 伊東市 深澤 美智  
空白の句帳虚ろに炎暑の夜 伊賀市 山下 葉苗

### ▼棚山波朗 選

宇治川の闇を曳きゆく鶴飼舟 奈良市 渡辺 政子  
待つほどに闇のととのふ薪能 奈良市 池田 雪彦

### ▼西村和子 選

辿り着き双手に受ける岩清水 津市 小林美智子  
ポケットに貫はれてゆく子猫かな 大府市 井村 晏通

### ▼長谷川權 選

藍といふしづかな色の浴衣かな 横浜市 三玉 一郎  
手火花やてんでにあはれ照らしゐる 藤岡市 丸山 直樹

### ▼星野椿 選

百選の水の都の夏料理 伊賀市 松村 咲子  
水よりも水色濃ゆき額の花 三重県 木戸口眞澄

### ▼正木ゆう子 選

目で追って揚羽と時間共有す 常滑市 竹内 重美  
雀の子飛べぬと見せて飛び立てり 横浜市 秋元 正

### ▼三村純也 選

いそいそと下ろす紅緒の踊下駄 名古屋市 村田 和司  
翔び立ちし螢の匂ひ手に残る 西宮市 杉崎よしこ

### ▼宮坂静生 選

大空の資源は無尽鱗雲 世田谷区 石川 昇  
赤翡翠これが最後の一目惚 小平市 後藤 行雄

### ▼宮田正和 選

おうおうと山の神呼び山開き 伊賀市 西野登志子  
初蝶のふれ合ひて風かがやかす 伊賀市 福田 容子

英語俳句の部 特選

▼河原地英武 選 (訳)

a small stone  
the heat on my palm—  
Atomic Bomb Dome (てのひらの小石の熱さ原爆忌)  
Hiromi Yoshida / Japan

Rose of Sharon  
blooming at the mountain pass  
Basho once walked (木槿咲く芭蕉辿りし峠道)  
Kyoko Shimizu / Japan



連句 特選

▼北原春屏 林転石 宮川尚子 西田青沙 共選  
半歌仙『早苗哉』の巻

愛知県 ころも連句会  
雨折々思ふことなき早苗哉  
一羽涼しく立てる白鷺  
クレパスはスケッチブックいつぱいに  
髭伸びてゐる父さんの顔  
トレーラー行く先照らす月丸く  
山積みにしし特産の柿  
二人して浅き夢見む秋遍路  
新妻の切る豆腐大きめ  
丰满な胸はモノロー顔負けで  
皮膚科で貰ふ亜鉛華軟膏  
ライオンが嗅いで悦ぶ象の糞  
休日電車着ぶくれの客  
月冴ゆるホルムズ海峡荒れ模様  
雑音混じる短波放送  
曾祖母の忌明けのお斎並びて  
窓を開ければ軟東風の吹く  
石段を登る坂道花万朶  
里の子どもと遊ぶのどらか  
令和元年六月二十五日 満尾 豊田市福祉センター

出原樹音 芭蕉翁 板倉 間瀬 稲垣 石川 正村 平 出原 坪井眞知子 由川 長坂 小野 深津 羽 芙 渥 明子 芳梅 節子 有 慶子 樹音 羽州 葵 渥子 美美 合 捌

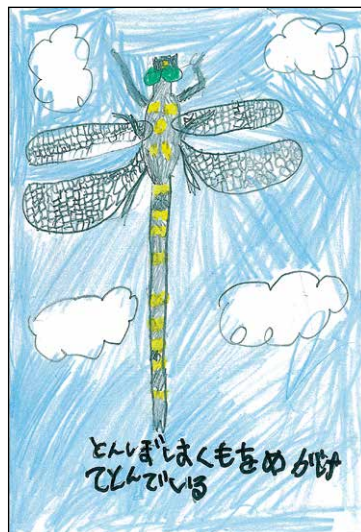
テーマの部 特選

テーマ「朝」  
▼片山由美子 選

南朝の黒木御所跡蟬しぐれ  
朝涼や笥を落ちる水の艶  
奈良市 渡辺 政子  
本巢市 加藤万亀子

絵手紙 特選

久米小学校三年 井田 瑛大



ポスター原画 最優秀

玉滝小学校四年 川島 瑠夏



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

〔保育所(園)・幼稚園・小学校一〜三年〕

▼下村哲朗・土井陽代・浜地和恵・藤井充子・山村勝子 共選(五十音順)

あめあがりにはじのいりぐちおいかけて  
 こんにはへんじがないぞかかしかな  
 ぱんとしてふうせんかずらのたねをとる  
 ゆうすずみしながらとどけるかいらんぼん  
 かたつむりしゅうごうばしよでみつけたよ  
 はつぼんのでつだいわたしふきんほす  
 えん天下けり上げきめたはつゴール  
 気がつくと生まれていたよメダカの子  
 ミントマトベンとうばこでひかつてる  
 水着にも海の思い出持ち帰り  
 台風でしんぱいしてる通学路  
 夏休みホテルのまどは海いっぱい

中瀬城東保育園 福田 千晴  
 古山保育園 辻 美羽  
 ゆめが丘保育園 里 奨真  
 友生小学校一年 山中 理愛  
 成和東小学校一年 松島 綾音  
 阿山小学校一年 森川 雛名  
 上野東小学校二年 西山 誠剛  
 上野西小学校二年 中林 将也  
 上野西小学校二年 中村 裕大  
 久米小学校三年 中森 大愛  
 三訪小学校三年 花本 祥稀  
 扇橋小学校三年 鈴木 凜



〔小学校四〜六年〕

▼喜多富美・坂石佳音・東構東子・福山良子 共選(五十音順)

ぼくを見る大きな目玉雨がえる  
 ひやけあとお父さんと同じあと  
 さくらちるランドセルへとさくらちる  
 イノコツチ私の服をししゅうする  
 夕立がすぎてまもなくはくちよう座  
 白い月ホタルの光りにげていく

上野西小学校四年 片山 蓮  
 友生小学校四年 松本 樹南  
 柘植小学校四年 菊地 王芽  
 西柘植小学校五年 橋口仁侑子  
 島ヶ原小学校五年 谷岡 宙星

メルボルン国際日本語学校五年 跡部 連

せみの声心拍音と同化する  
 面ごしの剣先にじむ夏げいこ  
 石きりが遠くへ飛んで夏の川

上野西小学校六年 長谷 淳史  
 府中小学校六年 辻井 直樹  
 柘植小学校六年 安村明日翔

〔中学校〕

▼岡島千秋・北村みち・島井節・西村八洲子 共選(中学校、五十音順)

稲をかる祖父のかたからバツタとぶ  
 草けてバツタは宇宙目指すかな  
 爽やかや襷スカートが風になる

城東中学校一年 峯山 友愛  
 霊峰中学校一年 青山 佳樹

東京都 お茶の水中学校一年 土谷吏俐子

つり皮の手裏剣マーク梅雨じめり  
 ししの子の二頭入るや朝のおり

城東中学校二年 東構 美桜  
 上野南中学校二年 福壽 悠仁

東京都 高輪中学校二年 佐々木 悠

キラキラと僕の竿から逃げる鮎  
 青春の先頭を往く揚羽蝶

三重県 宮川中学校三年 大森 聖真  
 愛知県 供米田中学校三年 渡辺 美愛

福岡県 前原中学校三年 矢野 駿太

〔高等学校〕

▼佐々木経子・永井みよ 共選(高等学校、五十音順)

石橋や飲んで吞まれる秋出水  
 いつも来る小鳥にあらず羽根の色  
 ボランテアして君の汗僕の汗

上野高等学校一年 徳田 雄也  
 伊賀白鳳高等学校一年 山本 吏虎  
 東京都 麻布高等学校一年 土谷 多央

一般の部 入選

※伊賀市在住の人のみ掲載しています。

▼有馬朗人 選

南朝の土の匂ひの葛根堀る

坂石 佳音

▼稲畑汀子 選

父逝きしより蛩に心寄せ  
躰糸解きて試着の汗光る

子曰 康子  
山村 勝子

人通すだけに括りし萩の寺  
晴れきらぬ雨の余情にほととぎす

西澤与志子  
北村 みち

▼茨木和生 選

椿落つ糞虫庵に井戸二つ  
冬の霧ただ電柱の続く道  
幣掛けていよよ茅の輪となりにけり

永井 みよ  
米田 朝子  
福山 良子

▼宇多喜代子 選

甚平の赤子の腕の太きこと  
混雑の小町通りや青嵐

森永真里奈  
福沢 義男

▼小澤寛 選

防火水浮草押しして鯉の口  
鶏の視線の先の雨蛙

杉谷 美保  
林 康子

グラウンド汗と涙でえぐれたり  
眼裏に敗戦の日の日の丸機

服部 歩  
山村 俊夫

水抜きし田に日の濃くて豊の秋

山本 智子

▼黒田杏子 選

梅雨出水田畑流してなほ猛る  
古文書を曝書せし部屋風少し  
瑠璃蜥蜴瑠璃煌煌と古墳走す

西田ゆかり  
森井まさゑ  
土井 陽代  
土永 京子

秋祭心浄まる笙の笛

桑原 陽子

豪雨禍の今も過疎村秋立ちぬ  
梅雨寒や駅のホームの堅き椅子

米田 朝子

真直ぐ見し慰安婦像に青葉雨

中嶋 國博

▼坂口緑志 選

人參の花を涼しく生けて癒ゆ  
蒼穹は深き静けさ山法師

宮谷ふさ子  
米野てるみ

万屋の残る里曲や燕来る  
研ぎて消す鑿の刃毀れつくつくし  
羽化をへし薄羽蜉蝣生絹めく

島井 節  
下村 哲朗  
川口 登子

▼塩田数相子 選

天高し宇宙探査に期す未来  
青葉光げ古代の神秘深き墓地  
模索する有機農法田草取る

滝川 瑤星  
山添 桜花  
森本 禾穂

秋の風忘れ去られし兵の墓  
老鷲の飴す深の翁の碑

中西 紀歩  
山森 桂花

▼棚山波朗 選

売家の土手に一面路のたう  
懸大根軒端明るき大和棟  
父の日の牛舎に細る鼻木かな

保田ひろ子  
片山 妙子  
稲森すま子

鈴鹿嶺へ太鼓ひた打つ山開き  
梅雨空の晴れ間見つけて畑仕事

西野登志子  
福岡 秀明

稲の花和銅の里のしげけさに  
母の日や母の遺せし桐の下駄

下村 哲朗

鷲の輪は村の大きき春耕す  
菜殻火の弾ける音や山暮るる

松尾 紀子  
米野てるみ  
宮谷ふさ子

▼西村和子 選

水に水被せ被さる大瀑布  
胸擦らんばかり水面へ夏つばめ

田畑 寛一  
服部登紀子

▼長谷川權 選

霧襖峡の九戸は老女のみ  
野の風を引つぱる蜘蛛の力糸

片山 妙子  
寺田 ちゑ

▼星野椿 選

待ち合はず俳聖殿の夏木立  
小正月里訪ふことも遠のきし  
蟬時雨ふと立ち止まる芭蕉句碑

前出美千子  
松井 和子  
山本カヨ子

生き甲斐は農ひとすぢや稲の花  
彫深き高虚子の句碑露涼し

山下 久美  
北村 みち

夾竹桃湖中に赤き大鳥居  
青嵐に古刹の鐘の鳴りやまず

西村八洲子  
田畑 寛一

伊賀山河遠く近くに秋立てり

桑原 陽子

沙羅の花一つ落ちれば一つ咲き  
▼正木ゆう子 選

藤下 恒星

凌霄花よじ登る木のあればこそ  
ランドセル三色並ぶ養花天

福森千恵子  
植田美由喜

蜉蝣は水より出でて風となる

森永真里奈  
池本 準一

▼宮田正和 選

暮鳴きやみ青き闇もどる  
夏つばめ一閃田の面突つ切れり  
妙法の火を生む山の暗さかな

森永 康子  
服部登紀子  
小川ひとみ

山霧のにはかに塞ぐ峠越え  
大琵琶を囲む山嶺雲の峰

稲森すま子  
佐々木経子  
宮谷ふさ子

暮鳴くやとんぼ返りの子を送る  
仰ぎ見て夏の星座を子と探す

宮谷ふさ子  
柘植由紀子

▼片山由美子 選

紅花干す朝の雲行き見てゐたり  
新雪の山からのぼる朝日かな  
田も畑も眠らせ今朝の牡丹雪

宮谷ふさ子  
和田 柏忠  
菊山 時子

朝の月芥子の花びらより薄き  
朝戸練りをれば囁りひとしきり

山本 正紀  
服部登紀子



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など